

# 宇工高だより

URL <http://www.ube-t.ysn21.jp>  
Eメール [ube-t@ysn21.jp](mailto:ube-t@ysn21.jp)

発行 山口県立宇部工業高等学校  
編集 図書視聴覚部

爽やかな秋晴れの日が続いております。金木犀の香りから始まった10月も、接戦に沸いた体育祭や中間考査を終え、いよいよ実りの季節・読書の秋です。

## おもわぬ出会いがありました

読書週間 10月27日～11月9日



昭和 22 年に始まった「読書週間」は、いまや国民的行事の一つとなり、今年も文化の日を中心にした二週間、全国各地でさまざまな行事が企画されています。

本校でも、SHR を利用した「朝の 10 分間読書」や各授業を通して、まとまった読書の時間・読み聞かせ・推薦図書の紹介等を予定しています。

さて、今年の読書週間標語は「思わぬ出会いがありました」。人生を豊かにするさまざまな本が、わたしたちとの出会いを待っています。

## 文字・活字文化の日

読書週間初日である 10 月 27 日は、「文字・活字文化の日」でもあります。

「国民の活字離れに何とか歯止めをかけたい」との思いから提案された「文字・活字文化振興法」が 2005 年に制定され、これを受け、文字・活字文化についての関心と理解を深めるための日として、この「文字・活字文化の日」が設けられました。

今年で 4 回目を迎えるこの日をきっかけに、さらに知的で心豊かな生活、活力ある社会を実現していくための「言語力」を磨いていきたいものです。

## 2010 年は「国民読書年」です

今年 6 月、衆参本会議において 2010 年を「国民読書年」と定める決議が全会一致で採択されました。この決議では政官民が協力し、国を挙げて読書の振興を図ることが謳われています。読書の国体ともいえる「読書キャンプ」の企画や、「読書立国」日本の実現のために、さまざまなイベントが計画されることとなりました。

ところで、経済協力開発機構 (OECD) が 3 年ごとに行う学習到達度調査 (PISA) によれば、日本の義務教育終了段階 (15 歳) の生徒は、読解力の成績不振が目立つとの報告がなされています。こうした現実の課題を真摯に受け止め、生徒一人ひとりの「生きる力」をはぐくむ手だての一つとしても、読書に関する取り組みを充実させていかなければなりません。

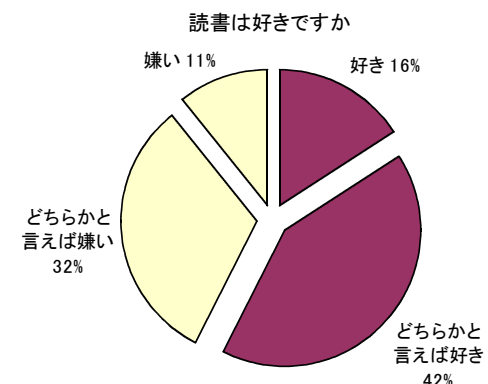
## 過半数は「本を読むのが好き・どちらかと言えば好き」

図書館利用、図書貸出は低迷 「読書に関する調査」より

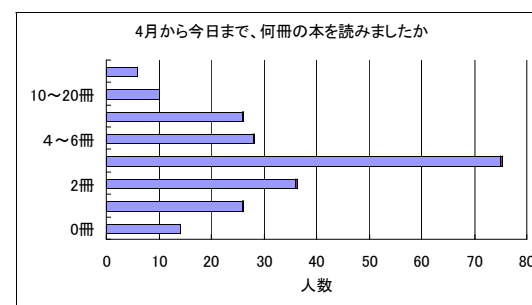
平成 20 年度も折り返しの時期となった今月はじめ、1 年 4 クラス・2 年 2 クラスを対象として「読書に関する調査」を実施しました。まず「本を読む」ことに関しては、58 % が「好き」「どちらかと言えば好き」と答えています。これは、小中学校において取り組んでいる「読書指導」の成果によるものだと思います。

次に、「あなたが本を読むのはなぜですか」という質問に対しては、「おもしろい、楽しい、ためになる」という答えが 73 %、「家の人や先生が本を読めというから」(8 %)「調べものをするため」(8 %)と続いています。

少数意見として、「朝読があるから」「読書ノートや宿題のため」「暇つぶしになる」「漢字の勉強になる」「気になる本があるから」「著者と自分の考えの違いを楽しむ」「本を読んでいるとかわかってくる」などもありました。



## 4 月から今日までに、本を何冊読みましたか



この問いに対しては、半年間で 3 冊 (34%) が一番多く、3 冊未満の 34% をあわせると、全体の 7 割近くになります。しかし、一方で 4 冊以上 (33%) と答えた生徒の中には、21 冊以上 (3%) という者もいます。

## もっと図書館を利用しよう

「4 月から今日までの半年間に、地域の図書館に何回行きましたか」「そこで何冊の本を借りましたか」の問いには、「1 回以上行ったことがある」が 38 %、さらに 1 冊でも本を借りたことがあると答えた生徒の数は、44 人 (20 %) でした。

本校図書館についてみると、昼休みの来館者数は毎日 20 ~ 30 人ですが、図書貸出数 (生徒のみ) は、1 ヶ月の合計が 20 冊前後しかありません。図書館によく足を運ぶ生徒に「なぜ図書館の本を借りないのか」ということを聞いてみると、「一週間では読み終えることができない」「本を返すのが面倒」「話題の本がない」などの答えが返ってきました。

「読書は嫌いではないが、図書館にはあまり行かず、読む本はおもに書店で買っている」という平均的な山工生の姿が浮かんできます。しかし、書店で扱う図書は限られています。あるいはいくら貴重な書物であっても、商業的に成立しない本は絶版になることも少なくありません。

「読書センター」「学習センター」「情報センター」である図書館には、生涯の宝となる本との出会いが隠されています。

「読書センター」「学習センター」「情報センター」である図書館には、生涯の宝となる本との出会いが隠されています。

\* 11 月 22 日 (土) は山工祭です。みなさまのご来校を、心よりお待ちしております。